

<p>題材名 教材教具名</p>	<p>W支援カード</p>
<p>教科・領域</p>	<p>学校生活全般～卒業後</p>
<p>考案者・製作者</p>	<p>湯口泰和</p>
<p>必要な物</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ラミネートしたカード(必要枚数:はがきサイズ) ○カードリング1個 ○紐</p> </div>
<p>保管場所</p>	<p>生徒個人所有(常時携帯)</p>
<p>内容・使い方</p>	<p>○表面は写真カードになっているので、本人に提示して活動に誘ったり、やりたい活動を選んでもらったりするのに使用する。</p> <p>○裏面は、それぞれの活動における支援方法や注意点が書かれているので、支援者が見て参考にする。 →</p> 
<p>備考 (教材・教具の工夫点や配慮点)</p>	<p>①対象生徒は写真を見たりめくったりすることが好きで、めくり式の写真カード(写真右)によるコミュニケーションが定着してきた。</p> <p>②対象生徒は警戒心が強くて慎重な面があり、自分の思いやペースを強く持っている。そのため、お互いに慣れていないと、介助等の支援やコミュニケーションの仕方が難しい。</p>  <p>◎以上の2点を踏まえ、生徒本人と支援者の両方を支援する目的で製作した。 ◎表面は生徒用の写真カード、裏面は支援者用のサポートブック的なものになっている。 ◎誰が関わっても円滑にコミュニケーションを行い、適切な支援ができることを意図している。対象生徒は現在高等部3年生であり、卒業後に向けて、進路先への移行支援の意味合いも強い。</p>